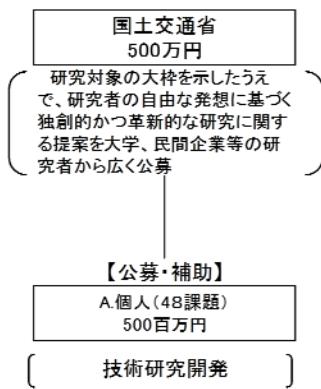


行政事業レビューシート					(国土交通省)
予算事業名	建設技術の研究開発助成経費	事業開始年度	平成13年度	作成責任者	
担当部局庁	大臣官房	担当課室	技術調査課	課長 横山晴生	
会計区分	一般会計	上位政策	技術研究開発を推進する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	一	関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(H18.3閣議決定) 国土交通省技術基本計画(H20.4)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	建設技術の高度化および国際競争力の強化、国土交通省が実施する研究開発の一層の推進等に資する技術研究開発に関する提案を大学、民間企業等の研究者から広く公募し、優秀な提案に対し助成する「競争的資金制度」により、広範な領域における建設分野の技術革新を可能とする環境を整備する。もって研究開発の成果による効率的・効果的な住宅・社会資本整備が推進されることを目的とする。				
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本助成経費は、行政上緊急性の高い課題に対し国が具体的に技術研究開発内容を定めて実施するものとは異なり、国が研究対象の大枠を示したうえで、研究者の自由な発想に基づく独創的かつ革新的な研究に関する提案を大学、民間企業等の研究者から広く公募するもの。この応募課題について、外部有識者からなる「建設技術研究開発助成制度評価委員会」による外部評価を経て、優秀な提案に対し補助金を交付する。				
実施状況	平成19年度採択課題数:基礎・応用研究開発公募24課題、実用化研究開発公募7課題、 平成20年度採択課題数:基礎・応用研究開発公募28課題、実用化研究開発公募9課題、政策課題解決型技術開発公募6課題 平成21年度採択課題数:基礎・応用研究開発公募30課題、実用化研究開発公募8課題、政策課題解決型技術開発公募10課題				
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度
	予算額(補正後)	400	500	500	250
	執行額	400	500	500	
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
	総事業費(執行ベース)	—	—	—	
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	本省において予算を執行しており、大学、民間企業等の研究者から広く公募を行い、採択課題の選定に当たっては外部有識者から構成される「建設技術研究開発助成制度評価委員会」により、研究開発に係る費用の使途も含めて審査していただいている。			
	見直しの余地	今後も引き続き国として必要な研究開発課題を公募し、審査を適切に実施することで研究開発の実効性の向上を図ることとしている。			
予算監視の所効見率化	【一部改善】 研究開発の評価等に当たっては、これまでの助成の成果によってどの程度、住宅・社会資本整備の効率化・効果向上が図られたかを検証し、改善効果の低い分野への助成を見直し、緊急性の高いものに重点化する観点を持って改善を図る。				
補記	<p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・091 技術研究開発推進費</li> <li>  ・13 科学技術振興費</li> <li>  ・13054-2405-16 技術研究開発費補助金</li> </ul> <p>(21年度予算額) 500百万円 (21年度決算見込額) 500百万円</p>				



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.岡山大学 三宅通博			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備備品費	研究開発に供する器具機械類等	11			
消耗品費	消耗機材等	6			
間接経費	管理部門の経費等	5			
計		23	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 【別紙】

A.個人 500百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	岡山大学 三宅通博	22.9
2	名古屋大学 森川高行	19.9
3	三重大学 畑中重光	19.8
4	名古屋工業大学 中井照夫	18.7
5	京都大学 田中宏明	16.3
6	三重大学 酒井俊典	16.0
7	京都大学 杉浦邦征	15.9
8	筑波大学 山田恭央	15.0
9	早稲田大学 濱田政則	14.8
10	アジア航測(株) 小川紀一郎	14.2